

平成 30 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート  
 (平成 29 年度の実績評価)

作成日 平成 30 年 7 月 25 日  
 更新日 平成 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	建設部 道路整備課
	施策No.	15	施策名	道路・河川の整備	施策主管課長名	中島 司
施策関連課名			都市計画課、用地管理課			

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民・歩行者・通行車(二輪・四輪車) 河川・水路	道路を安心・安全に利用でき、移動時間の短縮が図られる。 雨水が適正に処理・管理されることで、災害・水害の発生がなくなる。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880		
	イ 河川の延長	km	見込み値			127.2	127.2	127.2	127.2	127.2
			実績値	127.2	127.2	127.2	127.2	127.2		
	ウ		見込み値							
			実績値							
② まちづくり指標	A 市内道路の整備状況に満足していると回答した市民の割合	%	目標値			43.8	44.6	45.4	46.2	47.0
			実績値	43.4	37.8	39.0	40.0	39.2		
	B 目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合	%	目標値			55.0	57.0	59.0	61.0	63.0
			実績値	52.9	58.3	56.4	52.0	52.7		
	C 補修した橋梁の数	橋	目標値			143	151	155	160	164
			実績値	9	137	143	147	151		
	D 水害の心配がないと回答した市民の割合	%	目標値			54.4	54.8	55.2	55.6	56.0
			実績値	54.2	59.4	55.1	53.5	55.8		
	E		目標値							
			実績値							
まちづくり指標設定の考え方		A: 道路整備に関する市民の満足度を示す。 【市民アンケートの『市内の道路の整備状況に満足していますか』において、肯定的回答の割合】 B: 道路の利便性に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか』において、肯定的回答の割合】 C: 橋梁長寿命化計画による安全対策の成果を示す。 【橋梁長寿命化修繕計画に基づき長寿命化対策の補修をした橋梁の数(平成25年度以降に補修した橋梁数の合計)】 D: 河川・水路の整備に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『住んでいる地域は、水害の心配はないと思いますか』において、肯定的回答の割合】								
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		A: 計画的な生活道路の整備と維持管理により、5年間で約4ポイントの上昇を目標設定 B: 計画的に幹線道路等の整備をすることにより5年間で約10ポイントの上昇を目標設定 C: 年次計画により補修した橋梁の数。該当橋梁323に対し10年間で191橋の長寿命化を予定 D: 計画的に河川・水路等の整備をすることにより5年間で約2ポイントの上昇を目標設定								

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
関連事業本数	44	42	40	36	38	37	
関連事業予算額(単位:千円)	627,256	586,497	690,413	713,003	964,779	776,475	
(予算額の内訳)	国庫支出金	233,745	203,800	275,014	264,815	246,490	218,049
	県支出金	17,005	17,072	17,566	18,816	19,326	19,952
	地方債	162,000	153,800	206,000	195,700	450,600	296,800
	その他	8,150	8,450	8,450	16,704	8,704	8,704
	一般財源	206,356	203,375	183,383	216,968	239,659	232,970

#### 4 評価結果(施策の有効性評価)

<p>① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった</p>	<p>※左記の理由</p> <p>A・Bの道路関係について実績値が下回ったのは、これまでと同じく市民生活に密着した道路修繕の対応や整備に対する要求が強いものがあると考えられます。Cの橋梁修繕については、目標値より下回っていますが今後とも計画的に進めていく予定であります。Dの水路関係では目標値より上回っていますが、26年度以降、数値が上下しています。近年の台風等大雨への警戒感からであると考えられます。</p>
<p>② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した</p> <p><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した</p>	<p>※左記の理由</p> <p>各事業を着実に進めてはいますが、道路関係の満足度指標A・Bは横ばい、または減少傾向であり、引き続き迅速な修繕対応及び事業中の拡幅道路の早期完成が求められていると感じます。移動時間の短縮については、その年度において道路が完成した場合や、市道以外の国県道、及び高速道路の供用開始によってデータが上下すると想定されます。C及びDについては先ほど①で説明したとおりであり、横ばい傾向と感じます。</p>
<p>③ 他自治体との成果実績値の比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>H29年度、甲府市のアンケート結果では道路整備の推進の実感度が約60%、H28年度、韮崎市のアンケート結果では道路交通網の満足度が55%であり、本市の道路整備状況の満足度約40%と比較すると、本市の数値が低いことが言えます。これにより他自治体と比較すると、どちらかと言えば低い成果水準であると判断しました。</p>
<p>④ 住民の期待する成果水準との比較</p> <p><input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> ほぼ同水準である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である</p> <p><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である</p>	<p>※左記の理由</p> <p>市民アンケートの施策満足度・需要視傾向調査で見ると、過年度より道路・河川に対する重要視の傾向は約70%と高く、市民がインフラ整備を求めている事が推察できます。これに対し、満足傾向としては、約35%と低い値になっています。①でも説明しましたが、市民生活に密着した道路・河川の整備、及び修繕を市民が強く求めているものと考えられます。これによりどちらかと言えば低い成果水準と判断しました。</p>

#### 5 まとめ(課題の抽出とその解決に向けた取り組み)

施策の課題 (現状の問題点)	課題を解決し、施策の実現を図るための取り組み方針	
	課題解決の方向性	具体的な改善策・取り組み内容
市民生活に密着した道路整備の遅れ	通学路、生活道路の整備・修繕の対応 地域と連携した道路拡幅工事の推進	通学路の合同点検により指摘された危険箇所、また交通量の多い道路等を優先に整備、修繕を進めていきます。また、市民の安心・安全を確保するためにも迅速な対応を心掛けていきます。市民アンケートでも指摘されるように、市民の防災意識は高いが満足度が低い状況であります。地域によっては地域間を繋ぐ幹線道路の不足、また、狭あい道路等の問題も生じており、災害時には緊急車両の通行に支障が出る可能性もあります。これらのことを踏まえ、地元との調整ができる道路については積極的に道路整備・拡幅を進めていきます。
道路構造物の経年劣化による安全性の低下	橋梁長寿命化計画に基づく、耐震補強・修繕の推進 舗装長寿命化計画に基づく、健全な舗装管理の推進	耐用年数を既に過ぎているインフラ構造物が大半を占め、これから益々その割合が増していきます。長寿命化計画に基づき経費の平準化を図りながら、計画的に修繕工事を進めていきます。舗装修繕については国庫補助金の内示が少なく、また予算が厳しいことから計画通り進んでいない状況です。計画を見直し、実効性のある計画に基づき修繕を進めていきたいと考えます。
雨水等による冠水	排水機場の適正管理 頻発箇所の把握	台風等、大雨時には、甲西地区の排水機場の可動が重要なポイントとなります。マニュアルによる的確な操作、機器の点検、及び地元との連携等、日頃から適切な維持管理を心掛け、災害に備えていきます。市内における頻発箇所については、市民からの情報を基に現地確認を行い、水路等の修繕を進めていきます。